

# 第5学年 授業改善推進プラン

1組 28 2組 29

## 1 昨年度 授業改善推進プランについての検証

国語科	文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成することに課題がある。説明的文章を読んで、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすることに課題がある。
社会科	知識はあるものの物事を関連付けて理解することが難しい。資料を読み取ったり、資料から分かることを考えようとしたりすることに課題がある。
算数科	文章問題に対する、読み取り・見通しに課題があり、題意をとらえることが難しい。数量的な見方や考え方をし、筋道を立てて解決していくことに課題がある。
理科	文章を読み取ったり、文章を使って表現したりすることに課題がある。自然現象への興味・関心が低い。実験結果のまとめ方（表に整理する・数値化する）、観察の技能（何を見るかという視点をもつこと）に課題がある。
体育科	技能を向上させるため、工夫して運動している児童もいて意欲が高い。一方で集団でよい結果を出すためどうすればよいかを考えていない児童もいる。
音楽科	歌唱や器楽などに意欲的に取り組んでいる。歌は発声に気を付け美しい声で歌うことができる。リコーダーは、ほぼすべての音域を使用した楽曲に取り組むことが多いが特にサミングが必要なあたりで指使いが混乱するときがある。
図画工作科	大変意欲的に活動に取り組んでいる。おおむねの児童が豊かに発想しているが、発想を広げられない児童もいる。

## 2 学力に関する調査結果の総括（大田区学習効果測定の結果に対する考察） ※全体の傾向

国語科	目標値より →	☆カテゴリー別においてはすべての領域で目標値を上回っている。内容別では、一部目標値と同程度か下回っているものがある。個人差が大きい。 ・漢字の読み書きに関して一部目標値と同程度か下回っているものがある。 ・「言葉の学習」の「文の構成についての理解」に関して7ポイント、「指示語についての理解」に関して、12ポイント下回っており、課題がみられる。
社会科	目標値より →	☆カテゴリー別においてはほぼすべての領域で目標値を上回っているが、短答式で解答する問題が目標値よりも4ポイント下回っている。 ・「暮らしをささえる水」では、目標値を10ポイント上回っている。 ・「地図の見方」では、町の様子について地図記号や等高線等の知識をもとに把握することに課題がある。
算数科	目標値より ↑	☆カテゴリー別でも内容別でもすべての領域で目標値を上回っている。 ・「小数の計算」では、目標値を10ポイント以上上回っている。 ・「億と兆・概数の表し方」では、位取り記数法の理解に課題がある。
理科	目標値より →	☆カテゴリー別においては自然現象についての知識理解、関心・意欲・態度が目標値を下回っている。また、記述式、短答式で解答する問題が目標値よりも3ポイント下回っている。 ・「1年間の動物の様子」では、昆虫（オオカマキリの一年間の様子）について、「動物のからだのつくりの運動」では、手や足の曲がり方について課題がある。

## 3 令和元年度 授業改善推進プラン

### 国語科

関心・意欲・態度	課題 漢字や作文など書く活動に苦手意識をもち、ひらがなばかりにする、簡単な表現のみで書くなど、意欲が低い児童がいる。 重点 漢字の読み・書きは、家庭学習を含め、反復練習を毎日行えるようにする。習熟の状況を定期的にチェックし、その状況に応じた指導を行い、自信をつけることができるようにする。
話すこと 聞くこと	課題 話をしっかりと聞き、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることに課題がある。 重点 話し手の考えと自分の考えを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した事例を取り上げたりして自分の考えと比較する経験を積み重ねる。話す・聞くだけで終わりにするのではなく考えを深め合うようにする。
書くこと	課題 道筋の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えて書くことに課題がある。 重点 文章全体の構成を考え、自分の考えが明確になるように、事実と感想・意見などを区別して文章を構成することができるようにする。そのために、読む相手を意識させるようにさせ、間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする習慣をつけることができるように指導する。
読むこと	課題 事実と感想、意見などの関係を叙述をもとにおさえ、文章全体の構成をとらえて要旨を把握することに課題がある。 重点 どのような感想や意見をもっているのかに着目して、事実と感想、意見などの関係をおさえるようにする。読む時の視点を明確にする。
言語に関する 知識・理解	課題 既習の漢字や言葉を日常の学習場面で使用しない傾向にある。 重点 普段から既習の漢字や言葉を日常場面で使用するようにする。言葉の特徴や使い方を理解し、自分の思いや考えを深める学習になるようにする。

### 社会科

関心・意欲・態度	課題 地形や気候の様子について着目したり、地図帳や地球儀、統計などの各種基礎的資料を使って調べたりまとめたりすることに消極的である。 重点 資料提示の仕方を工夫する。実感をもって学習に取り組めるように他教科と関連した児童にとって身近なものを提示するようにする。
社会的な 思考・判断	課題 学習したことや見学したことと資料を関連付けること、自分の考えを相手に伝えるように表現することに課題がある。 重点 調べ学習や見学の際に、自分の調べる視点を明確にし、予想を立ててから行う。多様なまとめの方法を具体的に指示し、自分の考えを書く活動や意見を伝え合う活動を繰り返し行う。
資料活用 の技能	課題 地球儀や地図帳、各種資料で調べまとめることに課題がある。 重点 日頃から地図帳を見る機会を増やしたり、統計資料を関連付けながら学習する。
社会事象 の理解	課題 国土の地形や気候の概要を理解することに課題がある。 重点 地図帳や地球儀、各種の資料を活用した体験的活動を多く取り入れる。我が国の国土の様子を捉え、その特色を考えまとめさせる。

## 算数科

関心・意欲・態度	課題	内容は理解しているものの、発表することに消極的な児童がいる。思考力・表現力、知識・技能の活用に課題がある。
	重点	学習に操作的活動を設けたり、具体物を入れながら考える活動を通して基礎・基本を定着させる。
算数的な思考・判断	課題	数量的な見方や考え方をしながら筋道を立てて解決していくことに課題がある。
	重点	文章問題を解いたり活用の課題に取り組んだりするときに、線分図や数直線などを効果的に使って、適切な立式ができるように指導する。
算数的な技能	課題	解答する速さを気にして作図や計算の正確さに欠ける児童がいる。
	重点	落ち着いて解答するように指導を重ねる。作図をするときの視点、計算で注意すべきところを分析し正確に行えるように技能の習得を目指す。
知識・理解	課題	期間が空くと既習事項について振り返ることに時間を要する児童がいる。
	重点	教科横断的に算数の知識を使う機会を増やす。身の回りにあるものを測定したり、数量関係を表やグラフに表したりするなどする。

## 理科

関心・意欲・態度	課題	日常生活で自然との関わりが少ないため、自然現象における関心意欲態度及び知識理解が低い傾向にある。
	重点	校庭や地域(洗足池など)の自然環境を生かして、具体的な観察を通じた学習活動を進める。実際に自分の目で確かめることができるように、少人数での観察・実験の機会を多く設ける。観察の視点を与え、実感を伴った理解を図ることができるように指導する。
科学的な思考・表現	課題	自分の予想と結果を条件に目を向け、考察を書くことに課題がある。
	重点	観察、実験などを計画的に行っていく条件制御の能力を育てるとともに、既習事項を生かして考える習慣を育てる。
科学的な技能	課題	実験結果のまとめ方(表に整理する・数値化する)、観察の技能(何を見るかという視点をもつ)に課題がある。
	重点	問題解決に適した方法を工夫し、過程や結果を的確に記録する。
知識・理解	課題	基礎的・基本的な内容については理解しているが、電気と磁石の性質などに知識の混同が見られる。
	重点	観察・実験の振り返りを丁寧に行い、物質の特徴についての理解を深めることができるように指導する。

## 体育科

関心・意欲・態度	課題	運動に対する意欲は高いが、さらに上達するために自ら取り組もうとする意欲が高くない。
	重点	意欲を引き出すための学習カードや練習カードを工夫する。
運動に対する思考・判断	課題	運動が上達するために、自分で工夫して取り組むことに課題がある。
	重点	児童の発達段階に応じてスモールステップで順序良く具体的な指導を個別に講じる。
運動における技能	課題	普段の生活で運動する頻度に個人差がある。自分の腕で自分の体を支えたり、自分の体重をコントロールしたりすることができない児童がいる。
	重点	上半身を使った運動を準備運動の後の補強運動として、毎時間繰り返し取り組むようにして基本的な技の動き方や技のポイントを確実につかめるようにする。
安全・健康に対する知識・理解	課題	心の発達及び不安、悩みへの対処についての理解に課題がある。
	重点	心も体も同様に発達すること及び心と体は相互に影響し合うことについて理解できるようにする。

## 音楽科

関心・意欲・態度	課題	器楽では、様々な楽器に興味をもち、積極的に色々な楽器に取り組もうとしている。歌唱でも生き生きとした声で歌うことができる。グループ活動での話し合いがうまく進められない時がある。
	重点	グループ活動では、グループ編成や活動の流れ、活動の方法について熟慮し、児童が協力して活動できるようにする。
表現の創意工夫	課題	曲想にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表すか思いや意図をもって演奏することが十分ではない。
	重点	歌詞の内容・旋律の動き・構成などその曲の中で取り上げたい音楽的要素を明確にし、それを手掛かりにふさわしい表現を工夫させていく。
表現の技能	課題	リコーダーは、4年生からレ～高いレまで音域が広がり、運指に戸惑う児童もいる。リズムアンサンブルにおける各ラテン楽器の奏法があいまいになってしまう。
	重点	リコーダーは、曲に多く出てくる音やフレーズで準備練習を行い、円滑に曲の練習を行えるようにしていく。各ラテン楽器の奏法を全体指導で確認させるとともに、担当者が決まった時点で個別にも指導を行っていく。
鑑賞の能力	課題	意欲的に楽しく聴き、音楽のよさや美しさ、音楽の諸要素・音色の特徴などの聴き取りがあいまいになってしまう児童がいる。
	重点	音楽を形づくっている要素について児童が把握しやすいように、聴くときのめあてを明確に提示する。また、めあてをつかんで聴いたり、考えをまとめたりできるようワークシートを作成する。体の動きを積極的に取り入れ、音楽の特徴を身体的にとらえられるようにする。

## 図画工作科

造形への関心・意欲・態度	課題	楽しんで造形活動に取り組んでいる児童が多い。継続できるようにする。
	重点	グループでの活動や造形遊びを多く取り入れて、さらに活動への意欲を高めていく。
発想や構想の能力	課題	発想を豊かに広げられなかったり、思いついたことの表し方がわからない児童もいる。
	重点	作品鑑賞を通して様々な表現に気付かせる。教師や周りの友達との話し合いをもとに、発想・構想できるようにする。
創造的な技能	課題	新しい用具の扱いが難しい児童がいる。個人差が大きい。
	重点	ICTを活用しながら、用具の使い方などを確認する。新しい用具の使い方を練習する時間を設ける。
鑑賞の能力	課題	友人の作品を楽しく見たり、よさに気付いたりして、自分の表現に取り入れることができる。継続できるようにする。
	重点	形や色、材料による表し方の違いなどに気付けるよう、感じたことを話したり、友達の話や話を聞いたりする活動を、活動の途中にも取り入れる。

